



櫻田謙悟代表幹事

コロナ危機こそ、日本再生のラストチャンス

櫻田謙悟代表幹事は5月12日、定例の記者会見を行い、新型コロナウイルスに関して経済対策や企業業績、経済界と政府の連携などについて発言した。なお、会見から2日後の14日に39県で緊急事態宣言が解除されており、発言は同宣言解除の可能性を見据えて行われた。内容を抜粋し、お伝えする。

——事業活動の再開が見込まれる中、企業としてどのような対策が必要とお考えか。

緊急事態宣言は国から各都道府県知事に措置権限が下り、都道府県知事がそれぞれの地域の経済や新型コロナウイルスの感染状況を見ながら解除するというやり方を取っている点が特徴であり、日本型のロックダウンの運用の仕方だと考えている。経済界としては安全を第一に、かつ第2波の感染拡大を起こさないことを前提に緊急事態宣言を解除していくことは大いに結構なことだと考えている。

——緊急事態宣言の解除に地域差が出ることや、経済活動の再開後、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波、第3波ということがあれば、それぞれ地域によってできることが変わるということも考えられると思うが。

今回明らかになった最大のポイントは、やはりサプライチェーンが偏っていたということだ。生産キャパシティや供給力を上げるためのリソースの再配分ができるためには、サプライチェーンもそれだけダイナミックに、あるいはフレキシブルに動かなくてはいけない。頭の中では分かっているが、実際にそれができる企業というのは、具体的には分からないが、それほど多数はないと思っている。

ただ忘れてはいけないことは、もうそろそろ気が付いているべきだと、私自身含め、過去20年、あるいは平成の時代を通して言われてきたことだ。それをずっと先送りしてきて、東日本大震災の際もサプライチェーンの問題には気が付いていたのだが、今もまた言われている。「いつになれば日本は気が付くのですか」が、経営者や政治、行政にも投げかけられている大きな疑問であると思う。

今回のコロナ危機こそ、日本が新しく再生していくためのラストチャンスであると、政治も経済界も各界も、何より国民も思っていて、希望を持って新しい国をつくっていくという動きをしていかなくてはならない。また、経済同友会としても、まだ具体的なスキームはできていないが、それに向けて力を尽くしていきたいと、昨日の正副代表幹事会で話したところである。

——企業決算の発表が遅れているが、株主総会を延期させるところは少ない状況にある。株主総会はどうあるべきかご所見を伺いたい。

株主総会は取締役の選任、配当政策もあり、非常に重要

な機関であることは間違いない。目的に照らし、できるのであれば早く開催することが正しいスタンスである。新型コロナウイルスの感染拡大が続く状況に限らず、昨今のグローバルリズムの中で、1年1年の成績表、あるいはスナップショットを株主やステークホルダーに示していくことは重要なことではあるが、1年1年の結果だけを見て株主がその企業の価値、あるいは(株式の)売り買いを判断することはおそらくあまりない。この状況下で、株主総会を遅らせて得られる効果は、本年度や2021年度の見通しをどの程度取り込めるかだと思う。新型コロナの影響を自社の事業計画にどう織り込むかだ。確かに先に行けば行くほど不確定要素は減ると思うが、その分、株主やステークホルダーに対する開示が遅れることになる。

——今回の局面で日本の強みは、どのようなものが浮き上がってきたのか。また、それをどう発揮していくべきか、お考えを伺いたい。

もう少し前の話として、グローバルリズムがもたらした負の部分というものに対するソリューションを、世界中が探している状況の中で、日本のありようというものは必ず役に立つと申し上げてきた。

先日、世界経済フォーラムのミーティングに参加し、意見を申し上げたが、その中で紹介された10のテーマで進めていこうとしているタスクフォースが、参加者の高い関心と呼んだ。日本の持っている「三方良し」の文化、伝統的な価値観を大事にすること。これらはポストコロナの世界では、さまざまなチャレンジを解決する際に、大変重要なことであるという紹介をされている。

あえて簡単な言い方をすると、例えば日本型ロックダウンの根底にあるのは強制ではなく個人の自主性と責任感であり、この裏には日本人が持っている公の心のようなものが作用している可能性がある。PCR検査数においては世界に対して大変ビハインドを負っているが、一番心配な致死率においては、現在の日本の新型コロナウイルス感染者の致死率は3.88%で、世界的に見て低い数字である。ここから読み取れるのは、日本の強みは単に欧米文化追随ではない、日本独自のものであるということである。それをこれから、探していかないとはいけない。